

八重瀬町
YAESE TOWN

第2次八重瀬町総合計画

実施計画

令和8年度（令和7年度決算分）

事務事業評価

「サマーレビュー」シート

※画像はイメージです

総務部
企画財政課

【目 次】

事務事業名	ページ
八重瀬町観光拠点施設(南の駅やえせ)指定管理委託	1
八重瀬町観光・地域交流宿泊施設(ぶらっとやえせ)指定管理委託	2
八重瀬町戦争遺跡公園(ヌヌマチガマ)指定管理委託	3
観光物産協会運営補助金	4
地域おこし協力隊設置事業	5
地域活性化アドバイザー事業	6
八重瀬町自治会等備品整備支援事業	7
沖縄戦跡国定公園具志頭園地等施設維持管理業務	8
新しい公共交通検討事業（八重瀬町送迎バス活用モデル事業実証実験）	9
新しい公共交通検討事業（八重瀬町高齢者等お出かけサポート事業実証実験）	10
連結財務諸表作成業務	11
公会計システム管理業務	12
ふるさと納税運営事業	13

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名		企画観光統計班		
会 計	一般会計	科 目	7	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)	プロポーザル
事務事業名	八重瀬町観光拠点施設(南の駅やえせ)指定管理委託									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	八重瀬町観光拠点施設を民間事業者等が有する能力や手法を活用して効率的、効果的な運営と更なるサービスの向上を図り、地域の活性化と観光の振興に寄与することを目的とする。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位	10,000,000		10,000,000	100%	10,000,000	100%	10,287,420	103%	12,400,000	121%
事業費	直接事業費	円	10,000,000		10,000,000	100%	10,000,000	100%	10,287,420	103%	12,400,000	121%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	10,000,000		10,000,000	100%	10,000,000	100%	10,287,420	103%	12,400,000	121%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
指定管理者の指定		件数	1	1	1	1	1
			1	1	1	1	1
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
来場者数 (レジ通過人数*3名)		人数	267,000	267,000	160,000	190,000	333,000
			173,000	158,000	249,612	313,197	333,000
		達成率	65%	59%	156%	165%	100%
成果説明	民間事業者のノウハウを活用し、赤字経営から脱却して開業2年目で黒字化を達成した。地域の農産物取引を増やして農家の所得向上と経済活性化に貢献しているほか、地域資源を活用したイベント開催や情報発信、防災拠点としての機能も担うなど、単なる商業施設にとどまらない多角的な地域貢献と観光振興に成果を上げている。						

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2	法令等の義務はないが町が直接実施すべき	2	左記(①+②)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3	十分高く、今後も増加が見込まれる	3	左記(③+④)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
有効性	③成果の達成度	3	成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)	3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3	成果に対する活動量は適正である	3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
効率性	⑤事業費の適正度	2	事業費に見直しの余地がある	2	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする
	⑥従事職員数の適正度	3	従事職員数は適正である	3	左記(⑤+⑥)の平均点(小数点以下切捨て) ※ただし、一つでも1点があれば「1」とする

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 有効性	2 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 効率性	3 2	B' 投入コストを見直して事業を継続
一次評価(所管課)	これまでの実績が評価されも、指定管理期間も令和8年度より2年間の延長が決定した。今年度は、町の観光振興計画と連動した施策や、隣接するイオン店舗とのさらなる相乗効果を期待する。						
二次評価(行革本部)	八重瀬町観光拠点施設「南の駅やえせ」の指定管理委託事業は、地域の観光振興と活性化に寄与する重要な事業であり、民間事業者のノウハウ活用により、赤字経営から黒字化を達成するなど、一定の成果を上げていると評価できます。指定管理期間の延長が決定したことも、その実績の証左と言えます。						

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名			
会 計	一般会計	科 目	7	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	八重瀬町観光・地域交流宿泊施設(ぶらっとやえせ)指定管理委託								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	八重瀬町宿泊施設を民間事業者等が有する能力や手法を活用して効率的、効果的な運営と更なるサービスの向上を図り、地域の活性化と観光の振興に寄与することを目的とする。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	2,000,000		2,000,000	100%	2,000,000	100%	2,315,000	116%	2,325,000	100%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円										
		県支出金	円										
		町債	円										
		その他	円										
		一般財源	円	2,000,000		2,000,000	100%	2,000,000	100%	2,315,000	116%	2,325,000	100%
		正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
	従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
		正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
指定管理者の指定	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
宿泊者数(延べ人数)	人数	300	300	300	300	300	300	600	600	1,000	1,000
	達成率	25	360	278	278	1,024	1,024	1,024	1,024	1,024	1,024
	達成率	8%	120%	93%	93%	171%	171%	171%	171%	171%	171%
成果説明	令和7年度より、新たな指定管理者となり、企業研修や学生スポーツクラブ等の合宿受け入れ機能の強化に取り組んだ。その結果、宿泊延べ人数は前年度比368%となる1,024人に到達した。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	令和8年度以降は、合宿・研修機能を土台としながら、隣接している「ホロホローの森や具志頭浜」等の地域資源を活用した体験滞在型観光を推進していく。				
二次評価(行革本部)	「ぶらっとやえせ」の指定管理委託事業は、地域の観光振興と活性化、交流促進に寄与する重要な事業として位置づけられます。特に、令和7年度に新たな指定管理者による運営が開始されて以降、企業研修や学生スポーツクラブ等の合宿受け入れ機能が強化され、宿泊者数が大幅に増加するなど、事業目的達成に向けた具体的な成果が顕著に現れている点は高く評価できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課				班(係)名			
会 計	一般会計	科 目	7 款	1 項	2 目	主な契約方法(該当のみ)		
事務事業名	八重瀬町戦争遺跡公園(ヌヌマチガマ)指定管理委託							

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	八重瀬町戦争遺跡公園を民間事業者等が有する能力や手法を活用して効率的、効果的な運営と更なるサービスの向上を図り、地域の活性化と観光の振興に寄与することを目的とする。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	519,000		525,000	101%	525,000	100%	525,000	100%	525,000	100%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	519,000		525,000	101%	525,000	100%	525,000	100%	525,000	100%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
指定管理者の指定	件数	1		1		1		1		1	
		1		1		1		1		1	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
来場者数	人数	4,327		9,923		9,309		6,612		7,000	
	達成率										
成果説明	令和4年度より、当施設の管理運営について八重瀬町観光物産協会を指定管理者として指定した。昨今の物価上昇に対応するため、令和7年度より入場料を従来の100円から300円へと改定した。これらの取り組みの結果、入場延べ人数は前年度比で減少したものの、料金改定の効果により施設全体の収入は増加に転じ、安定的な運営基盤の確保に繋がった。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	修学旅行での平和学習においては、令和8年3月に辺野古沖で発生した転覆事故の影響が懸念される。この状況を受け、指定管理者や登録ガイド団体との連携と安全対策の一層の強化が求められる。				
二次評価(行革本部)	沖縄振興開発金融公庫のレポート(2026.6 No.206)によると、直近の沖縄への修学旅行参加者は、マリンアクティビティに加え、伝統・郷土料理の実食、星空観察といった自然・文化体験において高い満足度を示している一方、平和学習の満足度は50%を切っている。安全面からの入場体験の受入中止やデジタルを活用した疑似体験(令和10年度供用開始予定の文化拠点施設のデジタルコンテンツ)への質的転換の検討も必要です。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名		企画観光統計班	
会 計	一般会計	科 目	7 款	1 項	2 目	主な契約方法(該当のみ)		特命随意契約	
事務事業名	観光物産協会運営補助金								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	観光施策における中心的役割を担うとともに、町・事業者・住民間の調整を図る組織の運営に対し支援を行うことで、町内への誘客・PRを図る。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	9,000,000		14,000,000	156%	12,162,600	87%	12,617,000	104%	12,400,000	98%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	9,000,000		14,000,000	156%	12,162,600	87%	12,617,000	104%	12,400,000	98%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
補助金の申請・交付	件	1		1		1		1		1	
		1		1		1		1		1	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
施設への入域客数	人	267,000		267,000		160,000		190,000		350,000	
		173,000		158,000		249,612		313,197			
	達成率	65%		59%		156%		165%		0%	
成果説明	本事業は、本町の観光振興の中核を担う「八重瀬町観光物産協会」の運営基盤を強化し、安定的かつ継続的な活動を可能とすることを目的とする。 令和7年度は、「南の駅やえせ」が単年度黒字を達成し、自立運営の基盤を構築。売上は前年比160%増となった。また、「やえせ桜まつり」(来場3万人超)やサッカーキャンプ誘致も成功し、町への誘客と交流人口拡大に貢献した。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	2
	⑥従事職員数の適正度	2 従事職員数に見直しの余地がある		2	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 2	B' 投入コストを見直して事業を継続
一次評価(所管課)	今後も、スポーツキャンプにおける宿泊機能の確保や、体験滞在を促すようなツアーの造成や仕組み作りといった課題解決に向けた取り組みを期待するとともに、町の観光振興を牽引する組織として、継続的な支援を行う必要がある。				
二次評価(行革本部)	本事業は、町の観光施策における中心的役割を担う協会への支援を通じて、町内への誘客・PRを図るものであり、町の観光振興と活性化に資する重要な事業です。令和6年度、7年度の実績において「南の駅やえせ」の単年度黒字達成や売上前年比160%増、「やえせ桜まつり」やサッカーキャンプ誘致の成功など、具体的な成果が示されている点は評価できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名		企画観光統計班	
会 計	一般会計	科 目	2	款	1	項	6	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	地域おこし協力隊設置事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	「地域おこし協力隊」制度を利用して三大都市圏等からの人材を受け入れ、定住・定着を図り、地域力の維持・強化を図る。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		8,597,063		9,572,764	111%	9,380,333	98%	5,042,000	54%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円			8,597,063		9,572,764	111%	9,380,333	98%	5,042,000	54%
	正規職員	人										
	会任・嘱託職員等	人			2		2	100%	2	100%	1	50%
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
地域おこし協力隊の任用	人数	-		2		2		2		1	
		-		2		2		2		1	
	達成率			100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
八重瀬町への定住	人数	-		-		-		2			
		-		-		-		1			
	達成率							50%			
成果説明	令和5年度に新設された八重瀬町観光物産協会の機能強化と、町の観光振興を推進するため、同年度から3年間の任期で2名の地域おこし協力隊員を任用した。イベントの企画・運営、デザイン制作による情報発信、事業者等と連携した商品開発支援など、町の資源を活かした多岐にわたる活動を展開し、地域活性化に貢献した。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる		3	
有効性	③成果の達成度	2 成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30~69%)		2	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である		3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 2	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 2 効率性 3	B 投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
一次評価(所管課)	3年間の任期を満了した隊員2名のうち1名が町内に定住し、事業目的である「定住・定着」を達成した。令和8年度以降も本制度を継続して新たな隊員を受け入れ、観光振興および関係人口の創出による地域活性化を図る。				
二次評価(行革本部)	本事業は、地域おこし協力隊制度を活用し、八重瀬町への人材誘致と定住・定着を促進することで、地域の活性化、特に観光振興と関係人口創出に資する重要な取り組みです。令和7年度には、3年間の任期を終えた隊員2名のうち1名が町内に定住するという具体的な成果を上げており、事業目的の一つである「定住・定着」の達成に貢献した点は高く評価できます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名			財政班	
会 計	一般会計	科 目	7	款	1	項	2	目	主な契約方法(該当のみ)	
事務事業名	地域活性化アドバイザー事業									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町の魅力活かした特産品開発・観光誘客に繋がる現地体験型の商品提案、PRの実施等を通じて、町内事業者と協働してマーケティング等に関する実践、伴走型支援を実施する。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	-		-		-		6,000,000		6,000,000	100%
	国庫支出金	円							-			
	県支出金	円							-			
	町債	円							-			
	その他	円							-			
	一般財源	円							6,000,000		6,000,000	100%
	従事職員	人							1		1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人							-			
	正規職員時間外勤務	時間							-			

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
町職員との月2回以上の打ち合わせの実施。(回)								24		24	
								25			
	達成率							104%		0%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
特産品開発支援の実施(品目)								10		10	
								19			
	達成率							190%		0%	
成果説明	各出品事業者の商品詳細を記載したリーフレットを作成し、返礼品に同梱することにより、寄附者への適切な情報提供を行うとともに、クレーム率の低減および出品事業者ごとのブランド価値向上を図りました。 自治体との打合せ:計25回 事業者との打合せ:計17回 新規事業者開拓:19種類の返礼品登録										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	町職員と連携し、特産品開発ができたため、令和8年も引き続き、成果を上げていきたいと思っています。				
二次評価(行革本部)	本事業は、町の魅力活用、特産品開発、観光誘客に繋がる現地体験型の商品提案・PR、事業者支援を目的としており、八重瀬町の地域経済活性化や観光振興にとって高い妥当性を有する取り組みです。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名		企画観光統計班		
会 計	一般会計	科 目	2	款	1	項	6	目	主な契約方法(該当のみ)	—
事務事業名	八重瀬町自治会等備品整備支援事業									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町内の自治会及び認可地縁団体のコミュニティ活動に必要な備品の整備に要する経費に対して補助することを目的とする。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位	—		—		2,605,000		5,734,000		7,500,000	131%
	直接事業費	円	—		—		2,605,000		5,734,000		7,500,000	131%
	財源内訳	円										
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円					2,605,000		5,734,000		7,500,000	131%
	従事職員	人					1		1		1	100%
	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
補助金活用の案内・周知		—			案内・周知	案内・周知	
					案内・周知済み	案内・周知済み	
		達成率					
成果(アウトカム)評価指標名		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
5自治会/年		自治会			5	5	
					3	5	
		達成率			60%	100%	
成果説明	今回補助金制定から2年目となり、年度初めに区長会へ参加し事業の説明等を行い事業の活用を勧めることにより5自治会からの申請を受け、その全自治会へコミュニティ活動に必要な備品整備を円滑に行うことができた。						

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	町行政において各自治会は非常に重要な役割を担っています。そのため、自治会が行うコミュニティ活動を支援することは、町の将来の成長に大きく寄与すると考えられます。こうした活動を適切に補助することは、非常に意義のある取り組みです。				
二次評価(行革本部)	本事業は、町内の自治会及び認可地縁団体のコミュニティ活動に必要な備品の整備を補助するものであり、地域コミュニティの活性化、住民福祉の向上、防災・防犯活動の支援といった観点から、その必要性・妥当性は極めて高いと評価できます。町行政にとって、地域を支える自治会活動の円滑化は非常に重要な役割を担っており、本事業は町民ニーズに応えるものと言えます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名		企画観光統計班		
会 計	一般会計	科 目	2	款	1	項	6	目	主な契約方法(該当のみ)	指名競争入札
事務事業名	沖縄戦跡国定公園具志頭園地等施設維持管理業務									

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	本町と沖縄県自然保護課との間に締結された、「自然公園施設維持管理委託業務契約」を履行すること、及び、当該施設の利用者が快適に利用できるように維持管理をすることを目的とする。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	直接事業費		円	1,045,000		1,100,000	105%	1,100,000	100%	1,672,000	152%	1,540,000	92%
事業費	財源内訳	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
		県支出金	円	297,000		297,000	100%	297,000	100%	367,000	124%	367,000	100%
		町債	円	-		-		-		-		-	
		その他	円	-		-		-		-		-	
		一般財源	円	748,000		803,000	107%	803,000	100%	1,305,000	163%	1,173,000	90%
		正規職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員		会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
		正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
委託業務契約	件	1		1		1		1		1	
		1		1		1		1		1	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
維持管理業務回数	回	98		98		98		98		98	
		98		98		98		98		98	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果説明	委託業者へ維持管理業務を委託し、国定沖縄戦跡国定公園具志頭園地のトイレ等施設及び浄化槽の維持管理を行った。 維持管理業務回数 具志頭城址公園:49回 具志頭浜トイレ:49回 月4回実施 慰霊祭の月は、追加で清掃										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

C:【事務事業の総合評価】「令和5年度の方針性」・「A400(改善)」									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	町が県より事業を受託することで、修繕等の対応が迅速にでき、また、民間業者の専門的な技術や機材を活用することで今後も効率的な維持管理が可能です。								
二次評価(行革本部)	本事業は、沖縄県との間で締結された維持管理委託契約を履行するものであり、具志頭園地等の施設の管理及び利用者サービスの観点から、その必要性は高いと評価できますが、県からの委託費が十分ではないため、引き続き県へ委託費の増額を要求してください。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名		企画観光統計班	
会 計	一般会計	科 目	2 款	1 項	6 目	主な契約方法(該当のみ)		特命随意契約	
事務事業名	新しい公共交通検討事業(八重瀬町送迎バス活用モデル事業実証実験)								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	町内に住む高齢者等の移動支援や交通不便地域における町民の交通アクセスの改善を図る。
---------	---

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	952,296		2,792,783	293%	2,776,527	99%	5,637,043	203%	2,883,000	51%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	-		-		-		3,300,000		-	0%
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	952,296		2,792,783	293%	2,776,527	99%	2,337,043	84%	2,883,000	123%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
南北ルート路線バスの運行	台	2		2		2		2		2	
		2		2		2		2		2	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
バス乗車数(通院を除く)	人	930		2,920		2,920		2,920		2,920	
		455		1,549		2,182		2,543		2,920	
	達成率	49%		53%		75%		87%		100%	
成果説明	南部徳洲会病院が運行する送迎バスを活用し、高齢者等の移動支援や交通不便地域における町民の交通アクセスの改善に取り組んだ。 バスにGPS機能を搭載し、令和8年度からバスロケーションシステムを運用する。 ・運行日数:292日 ・乗車数:南部ルート 1,301人(-134人) 北部ルート 1,242人(+495人) ※()内は令和6年度年度比										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき		2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)		3	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	2 活動量を見直せば成果達成の余地がある		2	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 2	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 2 効率性 3	B 投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
一次評価(所管課)	令和6年度比で乗車数が361人増加した。さらなる利用促進に向け、実施主体である徳洲会病院との連携し、年齢制限の緩和を検討する。また、令和8年度はGPS機能を利用したバスロケーションシステムの運用を開始し、利便性の向上を図る。				
二次評価(行革本部)	継続した広報により、利用者が年々増加している。さらなる需要の掘り起こしや利便性の向上に向け、年齢制限の撤廃やバスの表示方法を検討してください。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名			
会 計	一般会計	科 目	2	款	1	項	6	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	新しい公共交通検討事業(八重瀬町高齢者等お出かけサポート事業実証実験)								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	本事業は、移動が困難になった高齢者等の交通弱者の通院や買い物等の外出を支援するため、住民ボランティアドライバーによる共助型の外出支援事業を行い、当該高齢者等の移動手段の確保だけでなく地域での支えあい活動を推進し、福祉の向上を図ることを目的としています。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位										
事業費	直接事業費	円	1,980,502		1,221,130	62%	1,158,299	95%	1,180,190	102%	1,283,000	109%
	国庫支出金	円	-		-		-		-		-	
	県支出金	円	1,980,502		1,221,130	62%	1,158,299	95%	-	0%	-	
	町債	円	-		-		-		-		-	
	その他	円	-		-		-		-		-	
	一般財源	円	-		-		-		1,180,190		1,283,000	109%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人	-		-		-		-		-	
	正規職員時間外勤務	時間	-		-		-		-		-	

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
運行サービスの実施	件	1		1		1		1		1	
		1		1		1		1		1	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
乗車数	人	200		200		330		330		330	
		164		324		326		138		330	
	達成率	82%		162%		99%		42%		100%	
成果説明	移動が困難になった高齢者等の交通弱者の通院や買い物等の外出を行っている、住民ボランティアドライバーによる共助型の外出支援事業を行い福祉の向上を図ることを目的としています。 昨年度実績 総運行回数 59回 月平均4.92回 利用者 138人 月平均11.5人 運行率 24%(243日中59日運行)										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	2 成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30~69%)				2	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	2 活動量を見直せば成果達成の余地がある				2	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

0.「事務事業の総合計画・令和9年度の方向性」・Action(改善)」									
事務事業の方向性	妥当性	2	B	事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性	2	B	投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
	有効性	2				効率性	3		
一次評価 (所管課)	利用促進に向け、自治会の協力やボランティアドライバーの確保を各自治会及び団体の集まりで呼びかけを行いました、広報やチラシの配布等でも周知を徹底していく。								
二次評価 (行革本部)	成果指標である「乗車数」は年度によって大きく変動しており、特に令和7年度には目標の42%しか達成できていない点が大きな課題です。引き続きボランティアドライバーの確保及び参加自治会の拡大に向けて周知をお願いします。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課				班(係)名	財政班	
会 計	一般会計	科 目	2 款	1 項	3 目	主な契約方法(該当のみ)	特命随意契約
事務事業名	連結財務諸表作成業務						

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	統一的な基準による財務書類4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）を作成し、予算編成等に積極的に活用する。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト (インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費 財源内訳	直接事業費	円	1,760,000		1,760,000	100%	2,090,000	119%	2,090,000	100%	2,178,000	104%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	1,760,000		1,760,000	100%	2,090,000	119%	2,090,000	100%	2,178,000	104%
	従事職員	人	1		1	100%	1	100%	1	100%	1	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人										
	正規職員時間外勤務	時間										

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込
連結財務書類作成業務契約	件	1	1	1	1	1
		1	1	1	1	1
	達成率	100%	100%	100%	100%	100%
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上段:目標
類似自治体との比較や固定資産台帳を活用し財政運営に係る業務へ反映する機会を増やす	回	5	5	5	5	5
		2	2	2	2	5
	達成率	40%	40%	40%	40%	100%
成果説明	財務書類の作成に際し、複式簿記を導入したことで資産などのストック情報を「見える化」することが可能となりました。また、これらの業務を専門業者へ委託することで、県内の類似町村との比較が可能となり、財政運営や政策形成を行う上での基礎資料として効果的に活用できるようになりました。					

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容		評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	3 法令等で町の実施が義務付けされている		3	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる		2	
有効性	③成果の達成度	2 成果目標をあまり達成できなかった(アウトカム達成率30～69%)		2	2
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	2 活動量を見直せば成果達成の余地がある		2	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である		3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である		3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 2	B 事業の手段・取組みを見直して継続	予算編成の方向性	有効性 2 効率性 3	B 投入コストは適正であるが、成果向上の余地がある。
一次評価(所管課)	平成29年度までに統一的な基準による財務書類の作成が国より要請があり、本町においても財務書類の作成に係る業務委託を行っているが、その成果品を財政運営や公共施設管理業務などに活用することが期待されるが、現時点ではフル活用はできておらず、成果品納品時の勉強会にとどまっている。				
二次評価(行革本部)	本事業は、成果指標について、目標5回に対し実績2回と、毎年40%の達成率に留まっています。一次評価の「現時点ではフル活用はできておらず、成果品納品時の勉強会にとどまっている」という状況は、事業本来の目的達成に課題があることを示唆しています。事業費は、令和6年度以降増加傾向にある一方で、成果指標が目標を大きく下回っているため、費用対効果の観点から改善が求められます。				

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課				班(係)名	
会 計	一般会計	科 目	2 款	1 項	3 目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	公会計システム管理業務					

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	公会計システムを用いて予算を適切に管理し、行政の運営を行う。
---------	--------------------------------

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
事業費	直接事業費	円	8,390,800		3,344,660	40%	3,550,800	106%	3,550,800	100%	3,550,800	100%
	国庫支出金	円										
	県支出金	円										
	町債	円										
	その他	円										
	一般財源	円	8,390,800		3,344,660	40%	3,550,800	106%	3,550,800	100%	3,550,800	100%
	従事職員	人	3		3	100%	2	67%	3	150%	3	100%
従事職員	会任・嘱託職員等	人					1	0%				
	正規職員時間外勤務	時間	100		100	100%	70	70%	50	71%		0%

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込	
令和4年度システム構築 令和5年～令和9年度長期契約	件	1		1		1		1		1	
		1		1		1		1		1	
	達成率	100%		100%		100%		100%		100%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:実績		上:目標/下:見込		上段:目標	
業務効率化による残業量減 (システム構築前の財政班残業量を1人あたり△30h)	h	-30		-30		-30		-30		-30	
		0		0		-20		-30		-30	
	達成率	0%		0%		67%		100%		100%	
成果説明	公会計システムを導入することにより、財務会計システム、起債管理システム、源泉徴収システムを連携により業務が効率的かつ正確となる。 また、決算統計業務においても充当作業などがシステム上で管理でき業務の効率化が図られる。										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	2 今後も一定のニーズが見込まれる				2	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

6.【事務事業の総合計画・令和5年度の方針性】・「Action(改善方)」									
事務事業の方向性	妥当性	2	A	事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性	3	A	投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
	有効性	3				効率性	3		
一次評価(所管課)	システム構築直後は、これまでのシステムとの操作が異なり使用する職員の戸惑いはあったものの、使用していく中で操作方法は慣れ、財政班の業務においては決算統計業務などの効率化が図られ年々残業量の目に見えて減っており評価できる。								
二次評価(行革本部)	投入コストについては、令和4年度にシステム構築費として初期投資があったものの、令和5年度以降は安定した費用で運用されています。投入コストに対して、業務効率化という具体的な成果が出ていることから、費用対効果の高い事業であると評価できます。一次評価の「使用していく中で操作方法は慣れ、財政班の業務においては決算統計業務などの効率化が図られ年々残業量の目に見えて減っており評価できる」との認識は、データの裏付けもあり妥当です。								

令和8年度(令和7年度決算分)事務事業評価「サマーレビュー」シート

1.【基本項目】

所管課名	総務部 企画財政課					班(係)名		財政班	
会 計	一般会計	科 目	2	款	1	項	6	目	主な契約方法(該当のみ)
事務事業名	ふるさと納税運営事業								

2.【事務事業の概要】「Plan(計画)」

事務事業の目的	ふるさと納税制度を活用し、ふるさとである八重瀬町を応援したい、貢献したいという人々の想いを具体化するための事業を円滑かつ効果的に行い、特色あるまちづくりを推進するため、その財源である寄附金の獲得する。
---------	--

3.【事務事業の実施結果】「Do(実行)」

投入コスト(インプット)	項 目		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	決算	対前年比	予算	対前年比
	事業費	単位	-		-		-		612,434,665		-	0%
事業費	直接事業費	円	-		-		-		612,434,665		-	0%
	国庫支出金	円							-			
	県支出金	円							-			
	町債	円							-			
	その他	円							-			
	一般財源	円							612,434,665			0%
	従事職員	人							1			0%
従事職員	会任・嘱託職員等	人							-			
	正規職員時間外勤務	時間							-			

4.【事務事業の評価指標(KPI)】「Do(実行)」

活動(アウトプット)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込
新規返礼品を追加(品目)								10		10	
								18			
	達成率							180%		0%	
成果(アウトカム)評価指標名	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:実績	上:目標/下:見込	上:目標/下:見込	上段:目標	上段:目標
ふるさと納税寄附金を獲得(円)								1,000,000,000		1,000,000,000	
								1,184,256,400			
	達成率							118%		0%	
成果説明	前年度より上回る寄付金額を獲得することができました。 【令和7年度実績】※()内は前年度実績 寄付件数:64,036件(54,140件) 寄付受入額:1,184,256千円(983,901千円)										

5.【事務事業の事後評価】「Check(評価)」

評価項目		評価内容				評価判定	
妥当性	①町が提供する必要性	2 法令等の義務はないが町が直接実施すべき				2	2
	②社会的要請・町民ニーズの有無	3 十分高く、今後も増加が見込まれる				3	
有効性	③成果の達成度	3 成果目標を達成した、または概ね達成した(アウトカム達成率70%以上)				3	3
	④成果に対する活動量(事業の手段・取組)	3 成果に対する活動量は適正である				3	
効率性	⑤事業費の適正度	3 事業費は適正である				3	3
	⑥従事職員数の適正度	3 従事職員数は適正である				3	

6.【事務事業の総合評価・令和9年度の方向性】「Action(改善)」

事務事業の方向性	妥当性 2 有効性 3	A 事業内容は適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)	予算編成の方向性	有効性 3 効率性 3	A 投入コストは適正であり、引き続き事業を推進(拡大含む)
一次評価(所管課)	令和7年9月にあったポイント廃止で大きな寄附を獲得することができ、令和7年度を通して、過去最高寄付額を獲得した。今後は調達費用の削減が寄附に大きく影響が出そうなので。情報を収集しながら、成果をあげたいと思います。				
二次評価(行革本部)	成果指標である寄附金獲得額は、目標を大きく上回る実績(令和7年度見込で118%達成、11.8億円超)を上げており、事業目的を非常に高い水準で達成しています。投入コストについては、正規職員1名体制で運用されており、人的資源の投入効率は極めて高いと評価できます。				